

# 令和5年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（焼津本町）

令和5年 6月実施

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	-	-	・室内は広めであり、2部屋に分かれているので利用しやすい。個室は無いが、パーティションで区切れる区画があるのでクールダウン等に活用している。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	3	-	・強度行動障害児童が複数名在籍しており連日の御利用であるが、有資格職員が2名居るので問題なく対応できている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	-	-	6	・肢体機能に問題がある子どもは階段があるので利用が困難である ・トイレがドアではなくカーテンで仕切るタイプであり男女別にもなっていない。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	-	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	-	-	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	1	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	1	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	-	-	・積極的に研修へ取り組むよう事業所目標としても掲げた。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	-	-	・個々の支援計画の原案には全員で加筆をし、正確な情報共有を図っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	-	-	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	-	-	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	-	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	-	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	-	-	・児童の発達状況・最近の様子を情報共有、踏まえたうえでより良い内容を職員間で話し合っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	-	-	・朝礼で利用児の話やどんな行動が見られるか予測しつつ支援の内容を再確認している 職員配置や活動について話し合っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	-	-	サービス提供記録への児童の様子や支援内容の記入終礼時の情報共有・話し合いを日々行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	-	-	・ヒヤリハットなどは後刻記入となるケースがある
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	-	-	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2	-	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	-	-	・主に児発管、状況により心理担当者も含め参画できるよう設定している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	-	-	・年間行事予定・下校時刻の便りを学校からいただいている 児童に関する情報連携も引き渡し時に行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	-	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	-	・相談支援事業所を介して情報を確認している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4	-	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	-	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	1	5	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	-	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	-	-	・引き渡し時に保護者に当日の様子や支援に関する事を伝え共通理解を深めている
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	-	・支援計画策定時に困り感に寄り添い情報を共有できるようサポートしている	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	-	-	・必要時お知らせ等を準備し口頭説明を添えてお渡ししている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	-	-	・面談時や引き渡し時に話があれば聞き取りし事業所内で話し合い支援の工夫や助言など聞き手の感情を踏まえお伝えしている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	1	5	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	-	・児童・保護者への謝罪・記録・職員への周知等、素早い対応を行っている
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	-	-	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	-	-	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	-	-	・マカトンサイン・文字・絵等相手の分かりやすい手段で情報を伝えている
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	-	6	
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	-	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	-	・訓練を行っているが有事の際の児童の訓練のサポートが多く、スタッフの具体的な動きについては有事を想定した繰り返しの訓練が必要 ・活動内で児童・職員が全員で様々なケースの避難訓練を定期的に行っている

非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	-	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	-	-	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	-	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	-	-	